

確認テスト NO 1

ローマは (1) 人がティベル河畔に建設した都市国家から出発した。当初は (2) 人の王に支配されていたが、紀元前 6 世紀に独立した。国家の最高官職は (3) であったが、実質的には (4 **貴族のみ** ・ **貴族と裕福な平民**) で構成されていた (5) という組織が支配権を持っていた。このような状況に対して、重装歩兵として国防に重要な役割をはたすようになった平民の不満が高まり、貴族との間に対立が起こった。このため、5 世紀前半に (6) が設置された。この官職は (3) や (5) の決定を (7 **承認** ・ **拒否**) することができた。さらにローマ最初の成文法である (8) も制定された。紀元前 3 世紀には、ホルテンシウス法が制定され、(9) の決議が国法となった。

ローマは国内改革を進める一方で、征服活動を行った。そして征服した都市に対しては分割統治を実施した。この統治方法は被征服民の (10) と反抗を予防した。その後ローマは (11 **北アフリカ** ・ **東ヨーロッパ**) にあったカルタゴとの (12) 戦争を開始した。この戦争は、最初にローマが勝利し、(13) を奪って属州とした。これに対して、今度はカルタゴの将軍 (14) が (15 **ヒマラヤ** ・ **アルプス**) 山脈を越えてイタリア半島に侵入し連戦連勝した。しかし、ローマの将軍スキピオがカルタゴ本国を攻撃すると、(14) は急遽引き返したが、スキピオに敗北し、その後暗殺されてしまった。カルタゴもローマに滅ぼされた。

ローマの領土の拡大はローマ市民の間に (16 **貧富の格差** ・ **強い団結**) を生んだ。属州からの徴税請負を行った (17) 階級は莫大な富を手に入れた。さらに彼らは、多数の (18) を使った大農業経営 (= 19) を行った。一方、多くの中小農民は没落し、「食料と (20 **住居** ・ **娯楽**)」を求める無産市民と化した。

評価

3 年 組 番

(不正解 1 個まで A、3 個まで B、以下 C)